



## MMWIN<sup>®</sup>みんなのみやぎネット<sup>®</sup>

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために  
Vol. 112

### 石巻赤十字病院が透析連携を開始します

透析連携は、MMWINのサブシステムの1つである『文書連携システム』を用いて、透析基礎情報や経過記録をアップロードし、参加施設間で共有することが可能です。2023年12月時点で、石巻圏の基幹病院である石巻赤十字病院様が、新たに透析連携を開始されたことにより、病院15施設、診療所10施設の計25施設で運用されております。

この連携は、日頃の施設間連携ばかりではなく、『有事のためのバックアップデータ』という位置づけでも非常に重要であると認識しており、当事務局では定期的にセミナーを開催するなど、会員施設様と積極的なコミュニケーションを図っております。

今回は、新たに透析連携を開始された石巻赤十字病院血液浄化センター臨床工学部臨床工学技術課課長 熊谷 一治様に、石巻圏における透析連携の活用プランについてお聞きしました。

MMWIN透析連携システムの導入に向けて、昨年より準備を進めてまいりました。現在はシステムの設定が完了し、今後は患者登録を行い運用開始に向けて準備を進めているところです。

システムの導入により、手術や検査で転入出する患者情報の把握や、夜間休日の緊急透析対応時の患者情報を確認することが可能となり、速やかな対応がとれます。東日本大震災時は、石巻地域のすべての透析患者の受け入れを行いました。受け入れ患者の確認や状態の把握が大変であったと記憶しています。

大規模災害時は、混乱する状況下において正しい患者情報の伝達が重要となりますので、MMWIN上に透析情報を登録・集約しておくことにより、正しい患者情報の伝達が可能となり、ひいては迅速な対応につながることを期待できます。

石巻医療圏において、透析医療が可能な災害拠点病院は当院のみです。石巻圏透析施設災害時ネットワーク（IHD）という災害時の協力支援体制が既に構築されていますが、地域の透析施設からの情報を、容易に当院で参照できる環境が整備できれば、万が一の場合において非常に有効な情報収集のツールになると思います。

また、連携先がMMWIN参加施設であれば、必要に応じて双方の施設で対象患者の情報を参照・共有でき、透析治療だけではなく透析以外の治療においても非常に意義を感じています。一例として、FAXでの送受信により文字や画像が不鮮明で読み取れないようなケースも、MMWINを利用することで回避できるかもしれません。そのためには、日頃から各透析施設がMMWINに患者情報をアップロードすること、透析患者さんの加入者を増やすこと、の2つが重要になってくると思います。当院では、MMWINのスタッフの方と連携し、透析患者に漏れなく加入してもらうことを進めたいと考えています。



臨床工学技術課課長 熊谷様

熊谷様のお話にありました患者さんのMMWIN新規加入に向けたブース活動も、ご要望いただければ実施してまいります。また、参加施設間でMMWIN透析システムを活用し情報を共有できるように、当事務局では連携体制構築に向けて取り組みを進めてまいります。

お問合せ先：

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)

【住所】仙台市青葉区一番町1-15-19 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>

【TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】[office@mmwin.or.jp](mailto:office@mmwin.or.jp)



『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。